

# 2008年3月期 決算説明会



**ダイセル化学工業株式会社**  
DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

2008年5月16日

# 目次

---

2008年3月期実績	P3～P13
業績概要	P3
売上高・営業利益推移	P4
連結の範囲	P5～P6
Topics	P7
連結損益計算書	P8
売上高・営業利益分析	P9
セグメント情報	P10～P13
2009年3月期見通し	P14～P29
業績見通し	P14～P15
売上高・営業利益の推移と見通し	P16
売上高・営業利益分析	P17
セグメント情報	P18～P25
設備投資額推移	P26
主な設備投資計画	P27
減価償却費推移	P28
研究開発費推移	P29
連結貸借対照表	P30
総資産・有利子負債推移	P31
ROA推移	P32
(参考)2009年3月期業績予想	P33
予測に関する注意事項	P34

# 業績概要

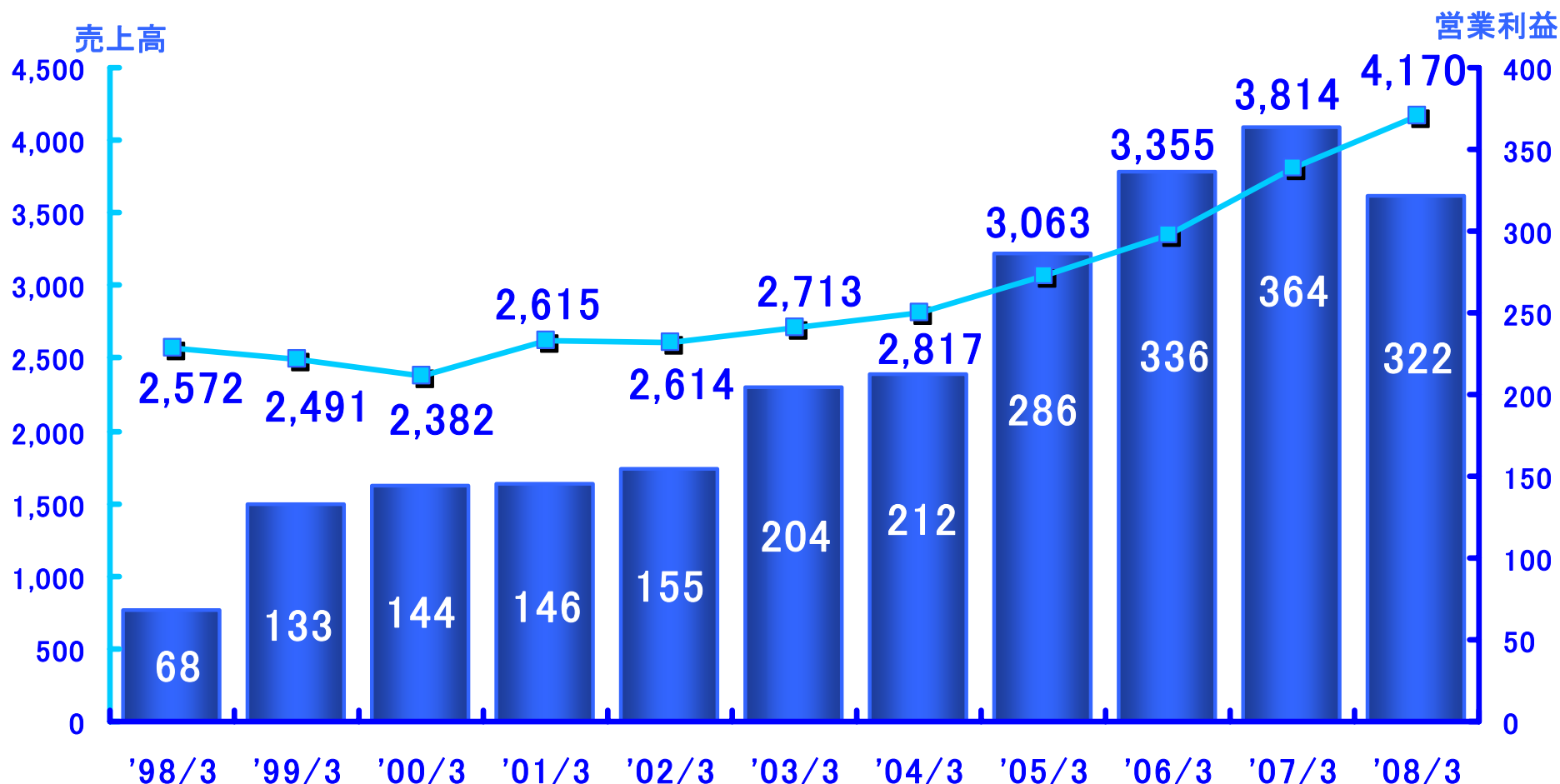
(単位:億円)

	2007/3	2008/3	増減	増減率
売上高	3,814	4,170	+356	+9.3%
営業利益	364	322	△42	△11.6%
経常利益	347	279	△69	△19.8%
当期純利益	174	137	△38	△21.6%
為替レート	117円	117円		

# 売上高・営業利益推移

(単位:億円)

売上高: 6期連続過去最高更新



# 連結の範囲

	2007/3	2008/3	増減
連結子会社数	53社	48社	△5社
持分法適用会社数	16社	12社	△4社
計	69社	60社	△9社

# 連結の範囲(連結子会社増減の内訳)

- 連結子会社 △5社

大日本プラスチック(株)及びその傘下企業4社の連結除外  
堺工場操業停止(2007/12末)に伴う堺実業(株)の解散  
ダイセルトレーディング(上海)の新規連結

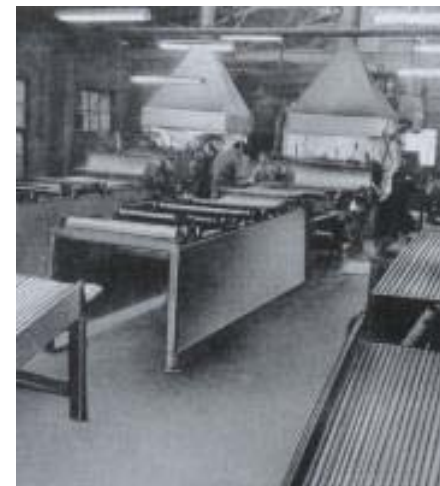
- 持分法適用会社 △4社

大日本プラスチック(株)傘下企業6社除外  
大日本プラスチック(株)が、連結子会社から持分法適用に変更  
寧波大安化学工業有限公司が新規に持分法適用へ

大日本プラスチック(株)は1956年に当社の合成樹脂事業計画の一環として設立。1971年に(株)トクヤマが資本参加し、当社60%出資、(株)トクヤマ40%出資の共同出資会社としてこれまで約50年間運営してまいりました。



創立時の姫路工場



姫路工場の波板製造工室  
(昭和36年頃)

プラスチック加工事業の厳しい競争環境のなか、タキロン(株)は、大日本プラスチック(株)と広く事業内容が重なっており、営業上・生産上の統合シナジー効果は非常に大きいと考えられること、又、大日本プラスチック(株)は当社グループの主力事業とシナジー効果を期待できるものが少なく、事業の選択と集中という観点から、当社が所有していた大日本プラスチック(株)の株式(同社発行済株式の60%)のうち60%(同社発行済株式の36%)を2008年3月31日に譲渡しました。

同社は2008年度(平成21年3月期)より当社の連結子会社ではなくなり、持分法適用関連会社となります。

# 連結損益計算書

単位：億円

	2007/3	2008/3	増減	備考
売上高	3,814	4,170	+356	数量差+159、単価差+197(価格+198、為替△1)
売上総利益	919	900	△ 19	
販売費及び 一般管理費	555	578	+23	販売数量増による販売直接費増+7
営業利益	364	322	△ 42	償却費増 △54 (内、制度変更 △29)
営業外損益	△ 17	△ 43	△ 26	為替損益 △23、金融収支 △4
経常利益	347	279	△ 69	
特別損益	△ 16	△ 7	+8	特別利益+152、特別損失△144
税金等調整前 当期純利益	332	271	△ 60	
法人税等、 少数株主利益	157	135	△ 23	
当期純利益	174	137	△ 38	
為替	117円	117円		



# 売上高・営業利益分析

## 【売上高】

単位：億円

	2007/3	2008/3	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	635	725	+90	+45	+45
有機合成	938	1,012	+74	△5	+80
合成樹脂	1,619	1,713	+95	+10	+84
火工品	555	654	+99	+111	△12
その他	67	66	△1	△1	-
合 計	3,814	4,170	+356	+159	+197

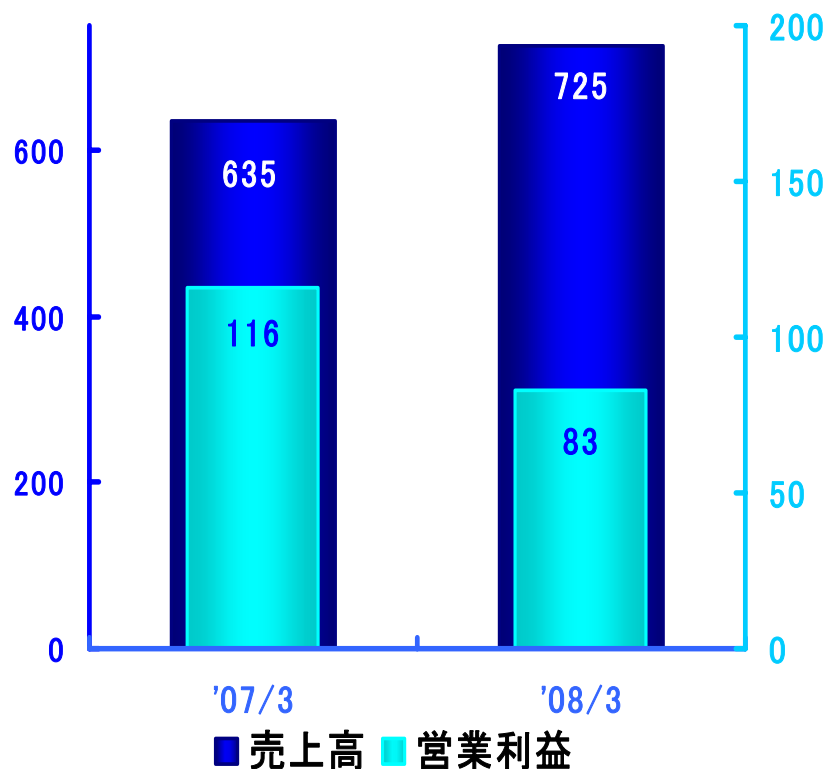
## 【営業利益】

単位：億円

	2007/3	2008/3	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	116	83	△34	+8	△11	△31
有機合成	113	117	+3	△10	+20	△7
合成樹脂	148	143	△5	△1	+7	△11
火工品	60	56	△4	+49	△9	△45
その他	9	6	△4	△4	-	-
全 社	△83	△83	+0	-	-	+0
合 計	364	322	△42	+43	+8	△94

# セルロース事業セグメント

(単位:億円)



## ☆売上高

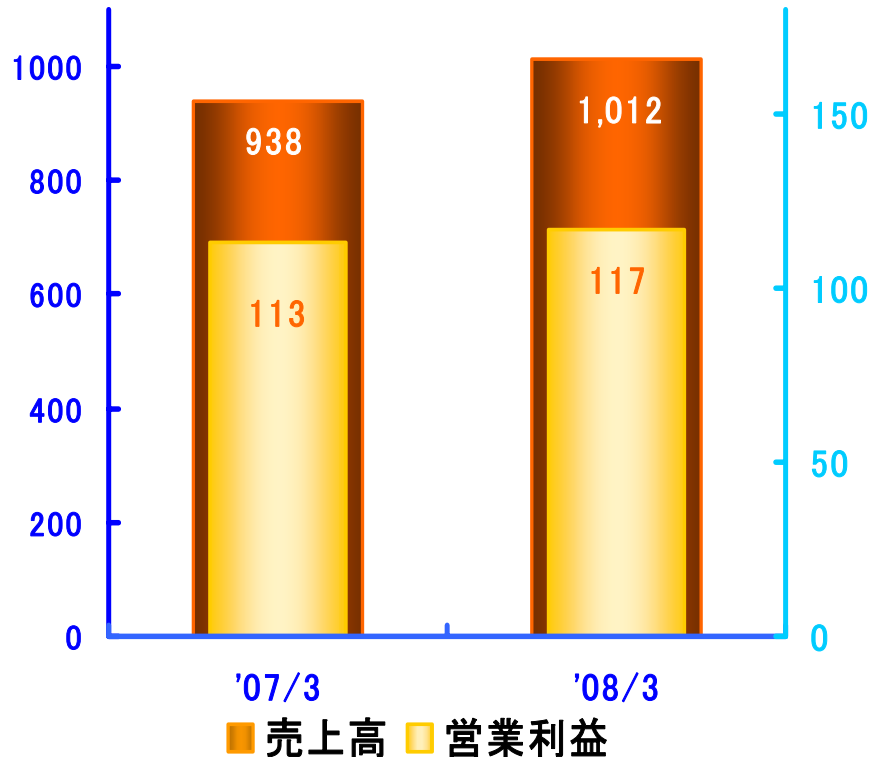
- ・酢酸セルロース + 29億円  
LCD向け増加
- ・たばこフィルター用トウ + 60億円  
大竹工場の新設備稼働による  
販売増

## ☆営業利益

- ・原燃料価格上昇
- ・たばこフィルター用トウ新設備稼働による  
固定費増
- ・償却制度変更  $\Delta$ 11億円

# 有機合成事業セグメント

(単位:億円)



## ☆売上高

- ・酢酸  
需給逼迫による販売増 +25億円
- ・酢酸誘導品等の汎用品と機能品  
販売価格是正 +42億円  
過酢酸関連の機能品の販売増
- ・CPI  
カラムの販売・受託分離 堅調 + 7億円

## ☆営業利益

- ・主要製品の販売増により増益
- ・償却制度変更 △13億円

# 合成樹脂事業セグメント

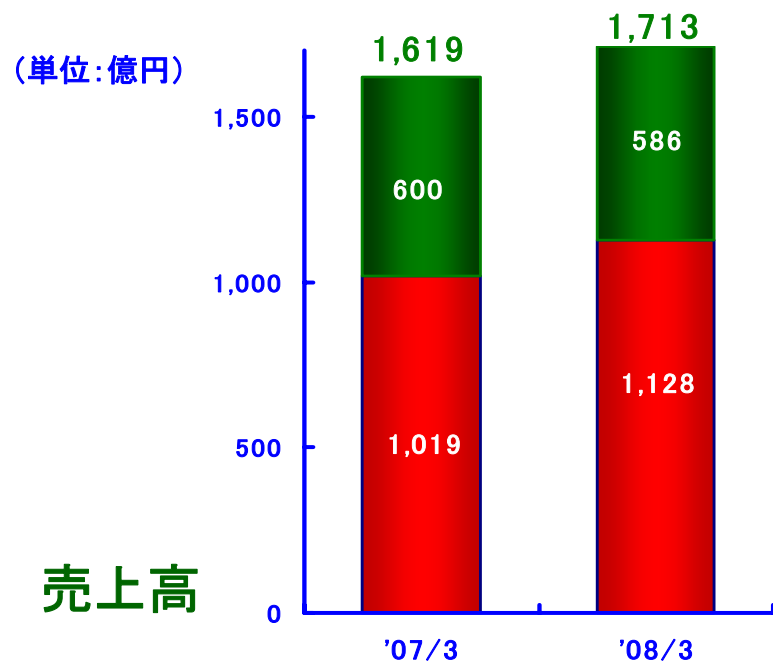
## ☆売上高

- ・ポリプラスチック +109億円  
全ての樹脂で数量増  
販売価格是正
- ・コンパウンド事業 +22億円
- ・樹脂加工等 △37億円  
ダイプラ子会社の株式譲渡による連結除外

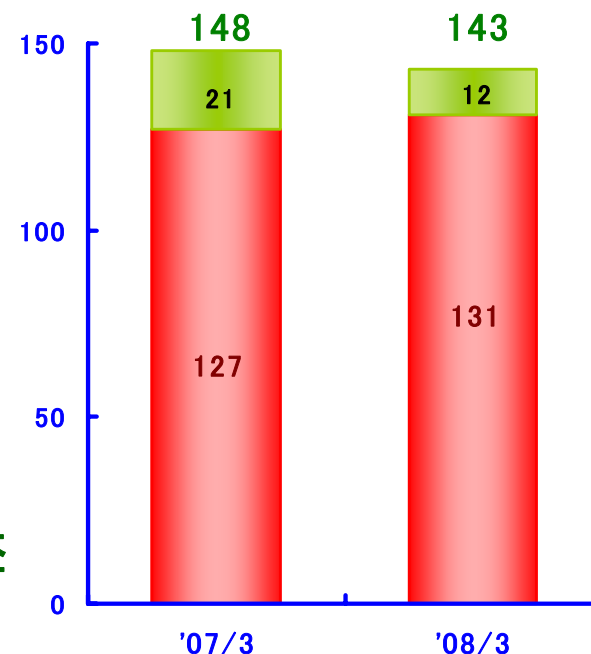
## ☆営業利益

- ・ポリプラスチック +4億円
- ・コンパウンド事業 +4.5億円
- ・樹脂加工品等 △13億円

(単位:億円)

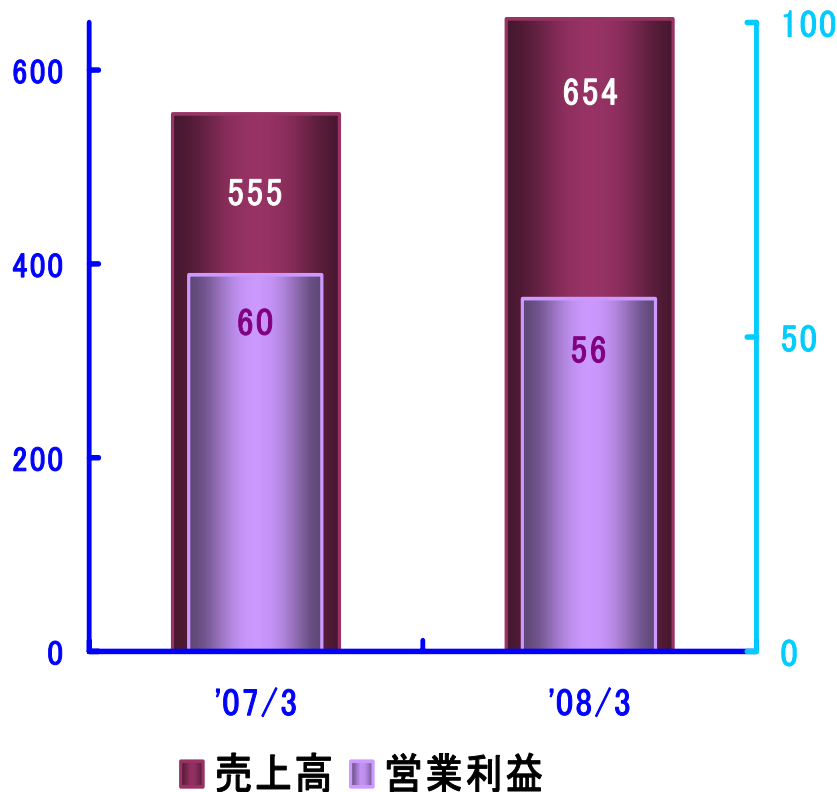


## 営業利益



# 火工品事業セグメント

(単位:億円)



## ☆売上高

### ・MSD事業

販売数量増

3310万個 ⇒ 4242万個 (+932万個)

### ・特機事業

調達数増

## ☆営業利益

・国内外の製造拠点における

事業基盤強化のための経費増

・部材調達コストの上昇

# 2009年3月期業績見通し

## 前提条件

		2007年上期実績		2007年下期実績		2008年上期計画		2008年下期計画	
為替レート		120円		114円		100円		100円	
原料	メタノール (欧米コントラクト価格)	1Q	\$330	3Q	\$620	1Q	\$470	3Q	\$360
		2Q	\$310	4Q	\$730	2Q	\$405	4Q	\$360
	原油(ドバイ)	\$67		\$87		\$100		\$100	
	国産ナフサ	58,750円		64,150円		70,000円		70,000円	

# 2009年3月期業績見通し

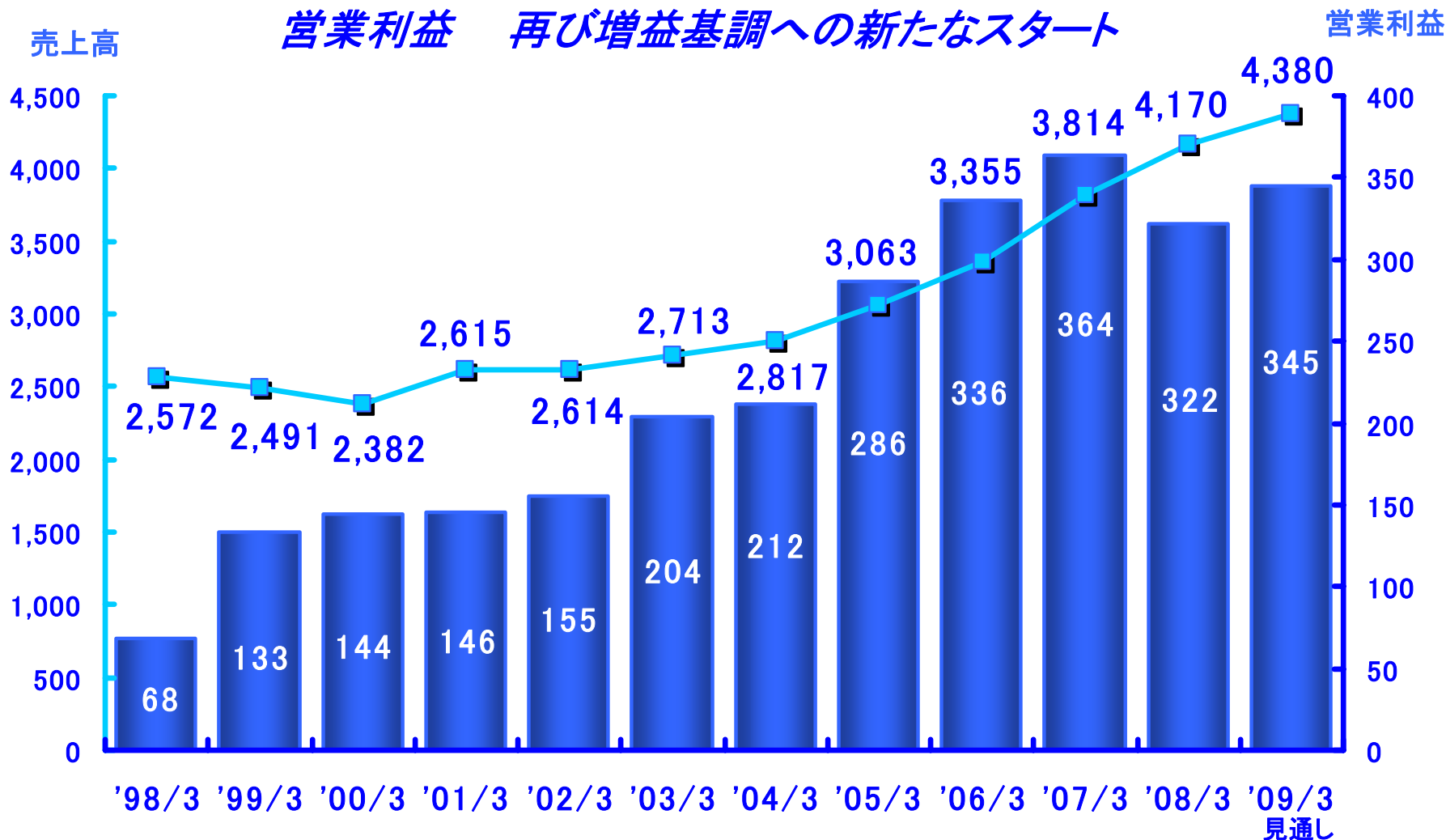
(単位:億円)

	2008/3 実績	2009/3見通し	増減	増減率
売上高	4,170	4,380	+210	+5.0%
営業利益	322	345	+23	+7.3%
経常利益	279	325	+46	+16.6%
当期純利益	137	165	+28	+20.7%
為替レート	117円	(前提) 100円		

# 売上高・営業利益の推移と見通し

(単位:億円)

売上高 7期連続増収、7期連続最高更新  
 営業利益 再び増益基調への新たなスタート





# 売上高・営業利益分析

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見通し	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	725	861	+136	+155	△19
有機合成	1,012	1,098	+86	+101	△16
合成樹脂	1,713	1,622	△91	△64	△28
火工品	654	725	+71	+118	△46
その他	66	74	+8	+8	-
合 計	4,170	4,380	+210	+319	△109

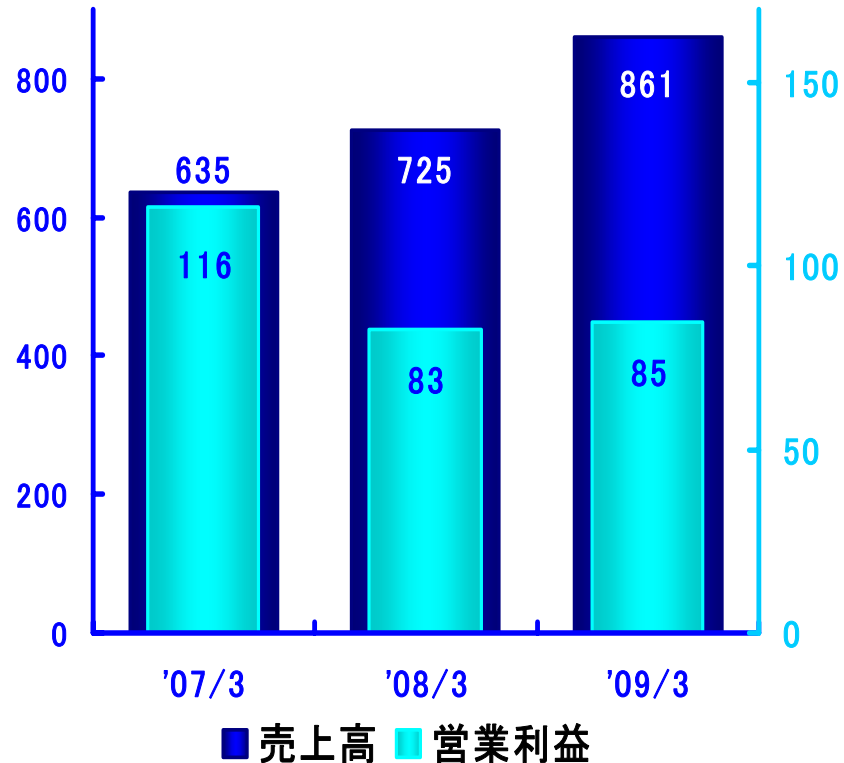
## 【営業利益】

単位：億円

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見通し	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	83	85	+2	+7	+4	△8
有機合成	117	120	+3	+35	△23	△9
合成樹脂	143	135	△8	+28	△13	△23
火工品	56	83	+27	+70	△28	△15
その他	6	9	+3	+3	-	-
全 社	△83	△87	△4	-	-	△4
合 計	322	345	+23	+143	△60	△60

# セルロース事業セグメント

(単位:億円)



## ・酢酸セルロース :

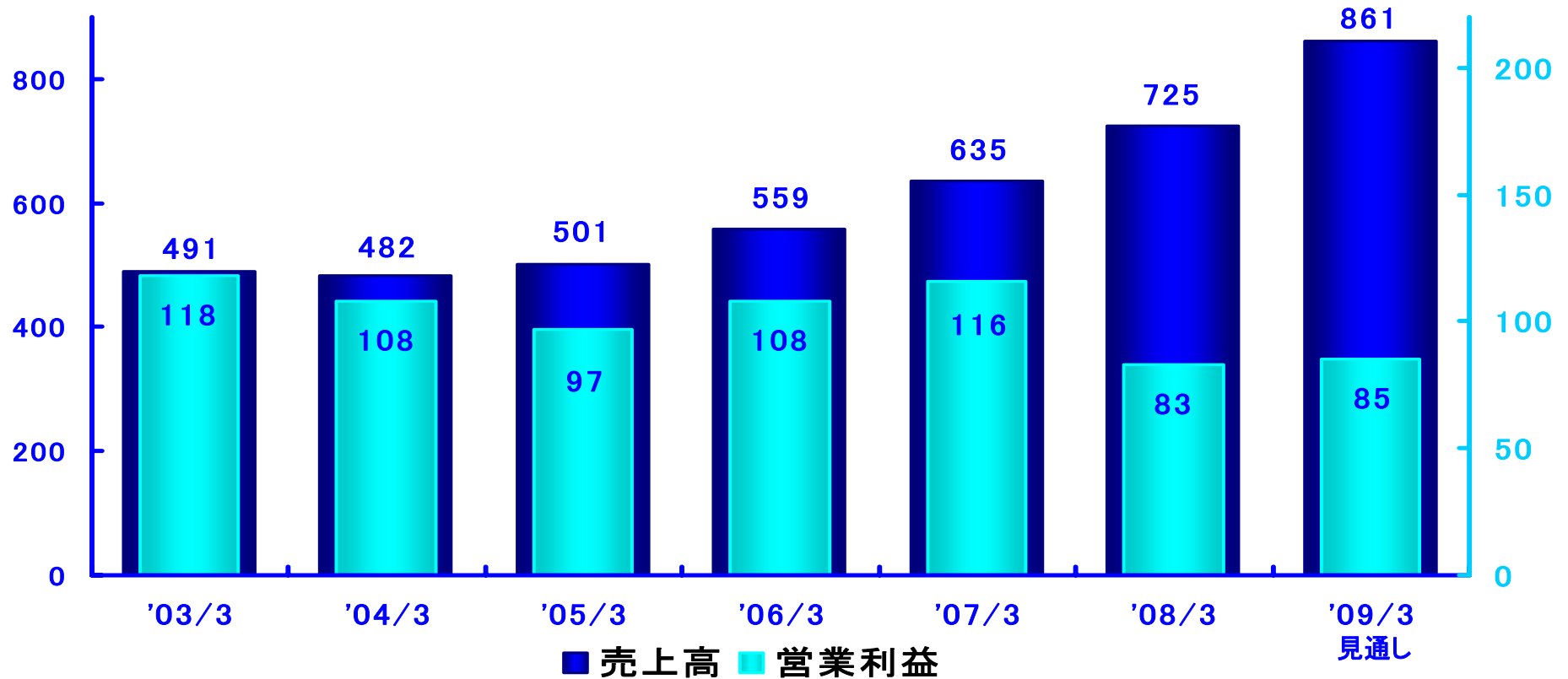
LCDフィルム向けTAC販売増  
大竹工場の新設備稼働による償却費増

## ・アセテート・トウ :

大竹新設備通年寄与  
輸出の円高の影響  
大竹工場の新設備償却費増

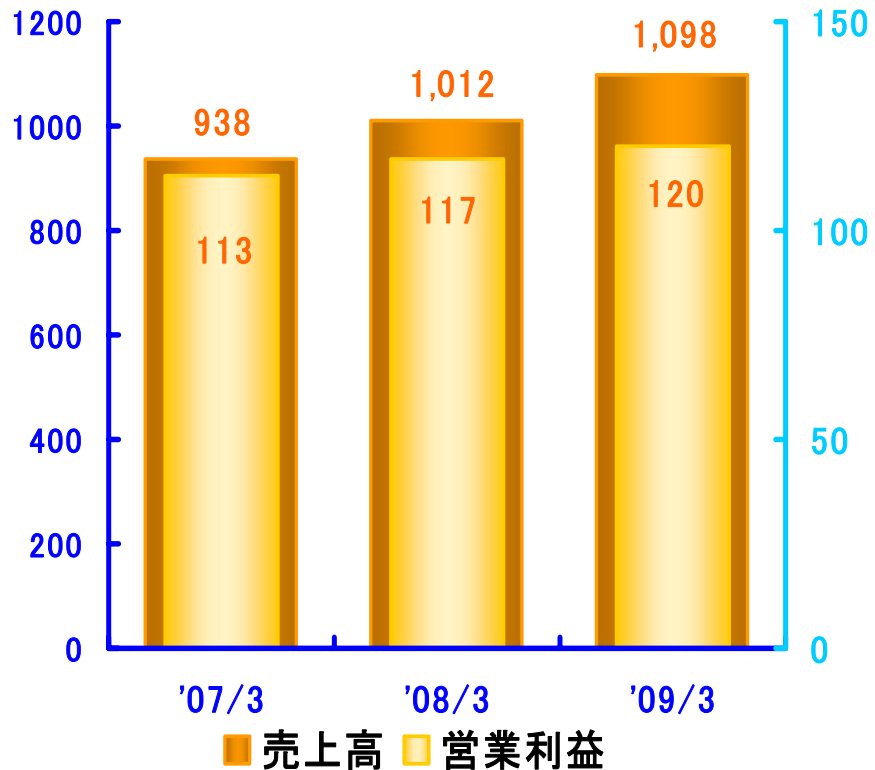
# セルロース事業セグメント

(単位:億円)



# 有機合成事業セグメント

(単位:億円)



価格是正注力

無水酢酸・過酢酸拡販

キラル世界5極体制確立  
(日・米・欧・中・印)

# 有機合成事業セグメント

(単位:億円)

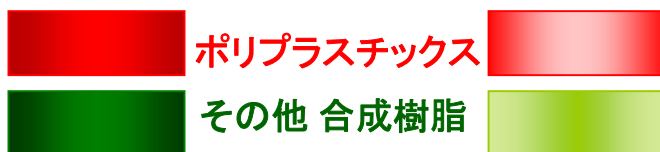
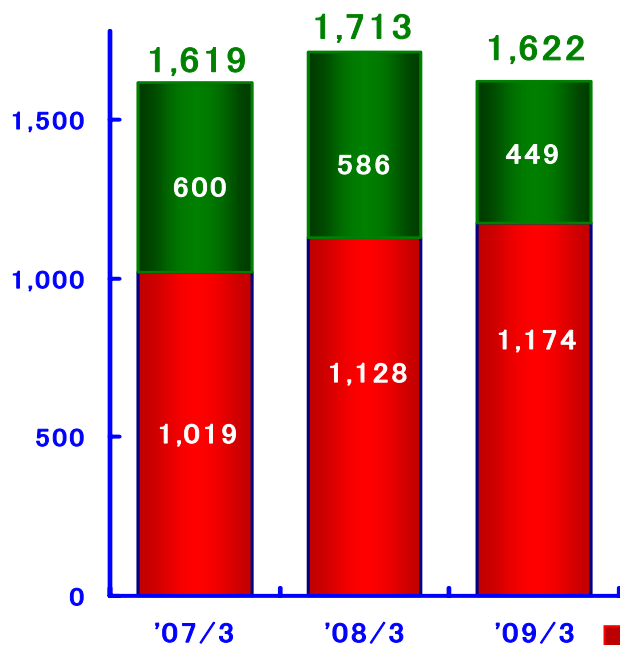


# 合成樹脂事業セグメント

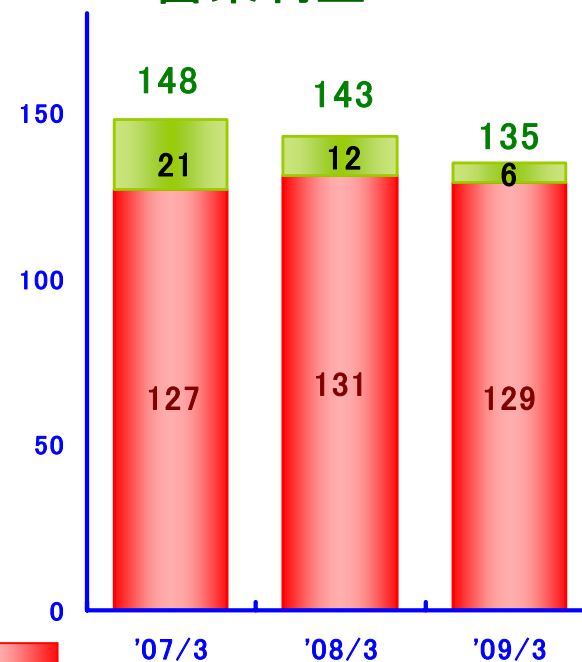
## 価格是正注力

- ポリプラスチック：POM販売増、LCP増強による販売増  
円高、減価償却費増(制度変更含む)
- ダイプラ連結除外

(単位:億円) 売上高



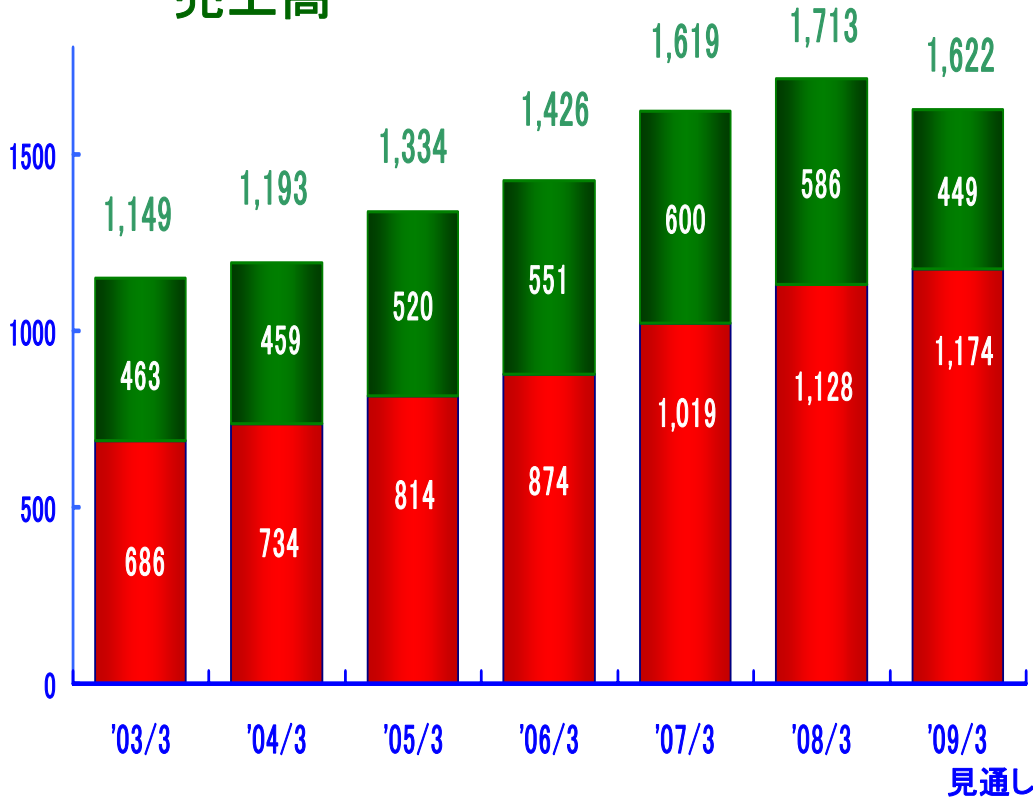
営業利益



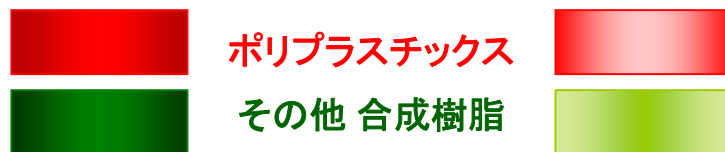
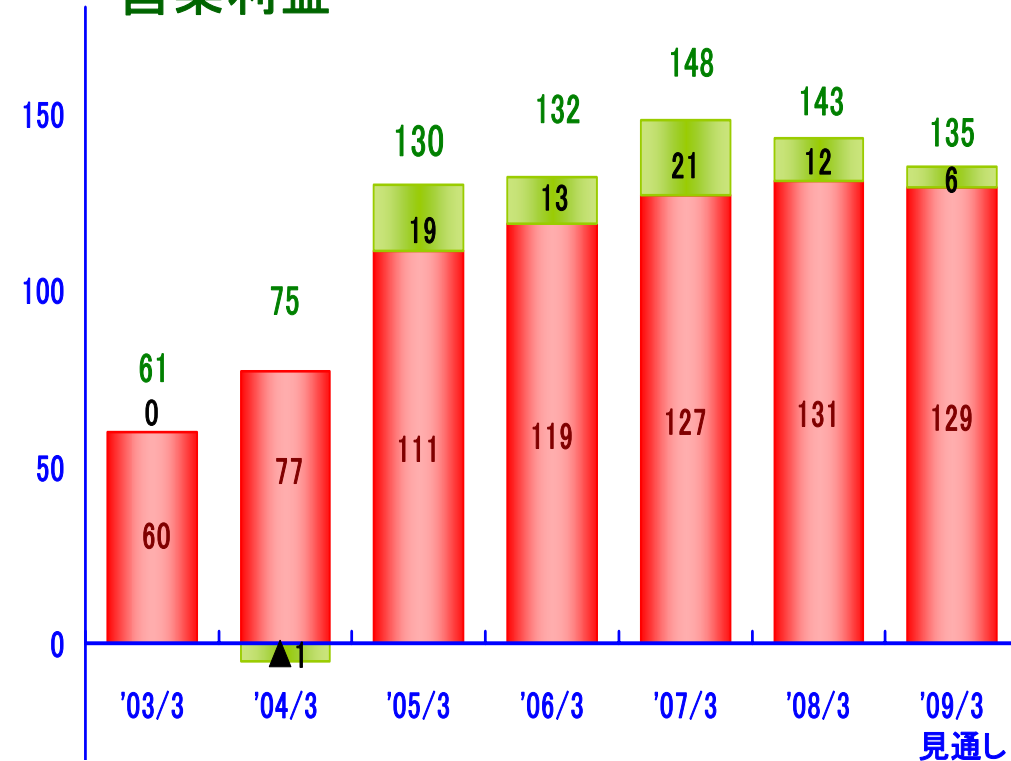
# 合成樹脂事業セグメント

(単位:億円)

## 売上高

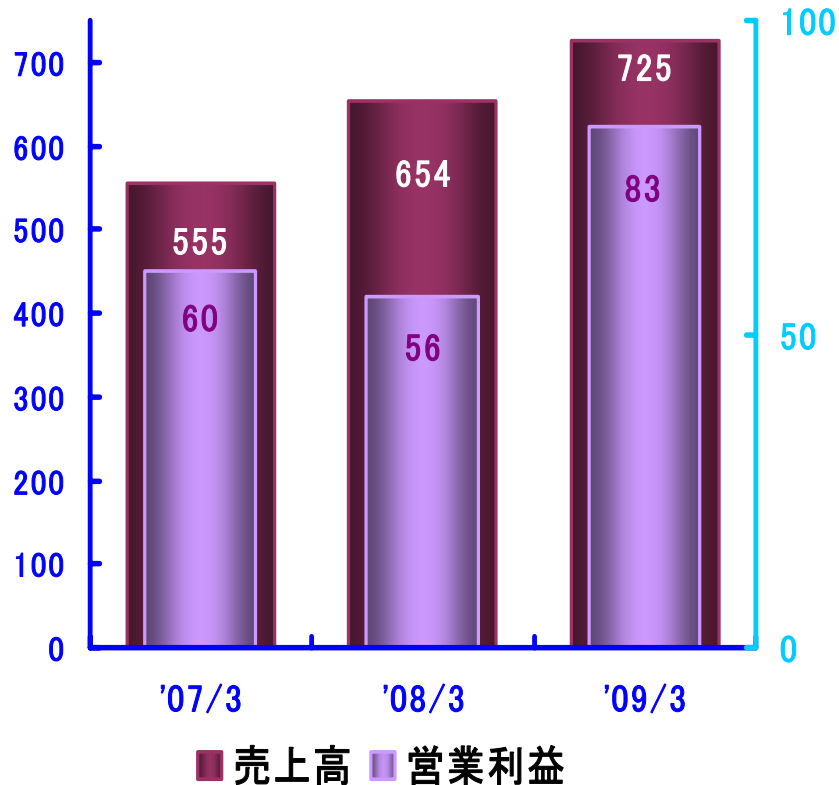


## 営業利益



# 火工品事業セグメント

(単位:億円)



インフレーター販売数量増

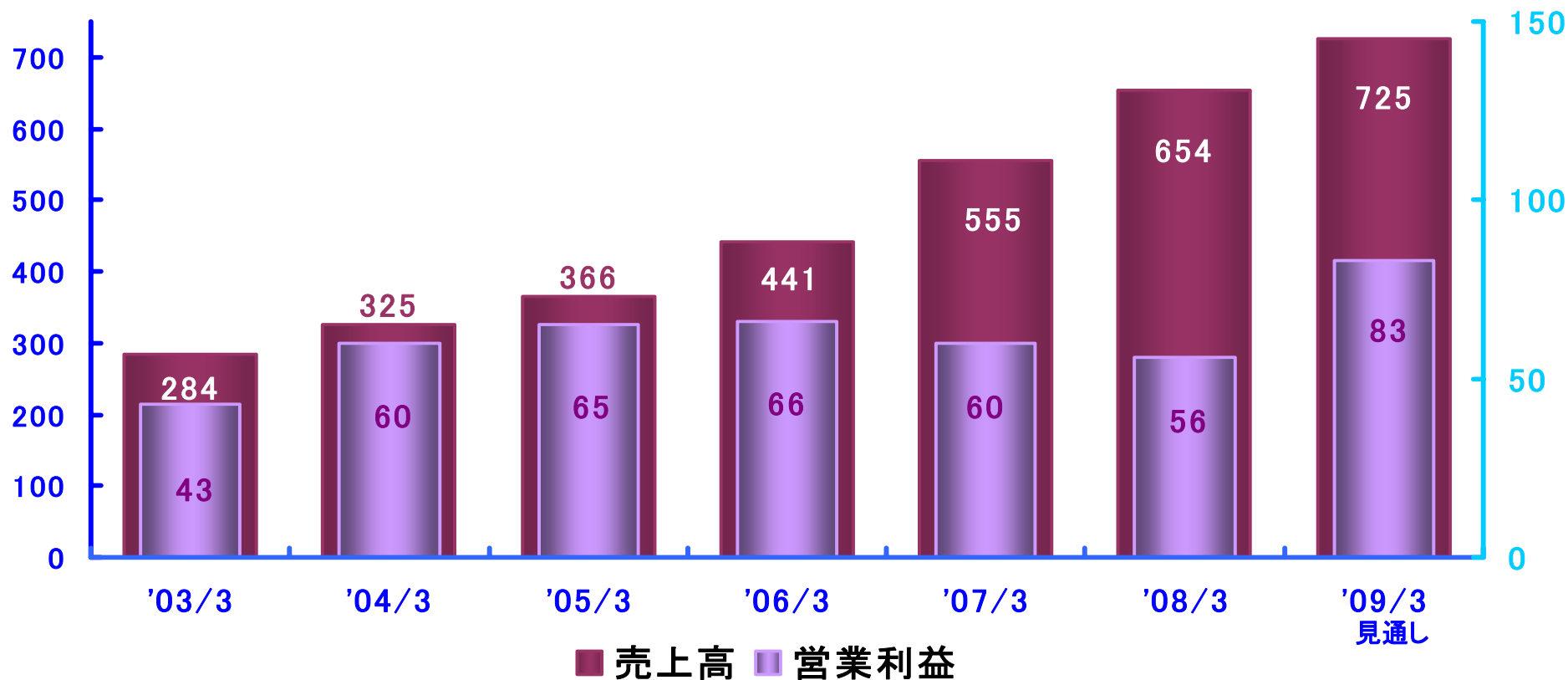
2007年度 4242万個 →  
2008年度 5300万個  
(+1058万個)

海外子会社収益改善  
生産性改善



# 火工品事業セグメント

(単位:億円)

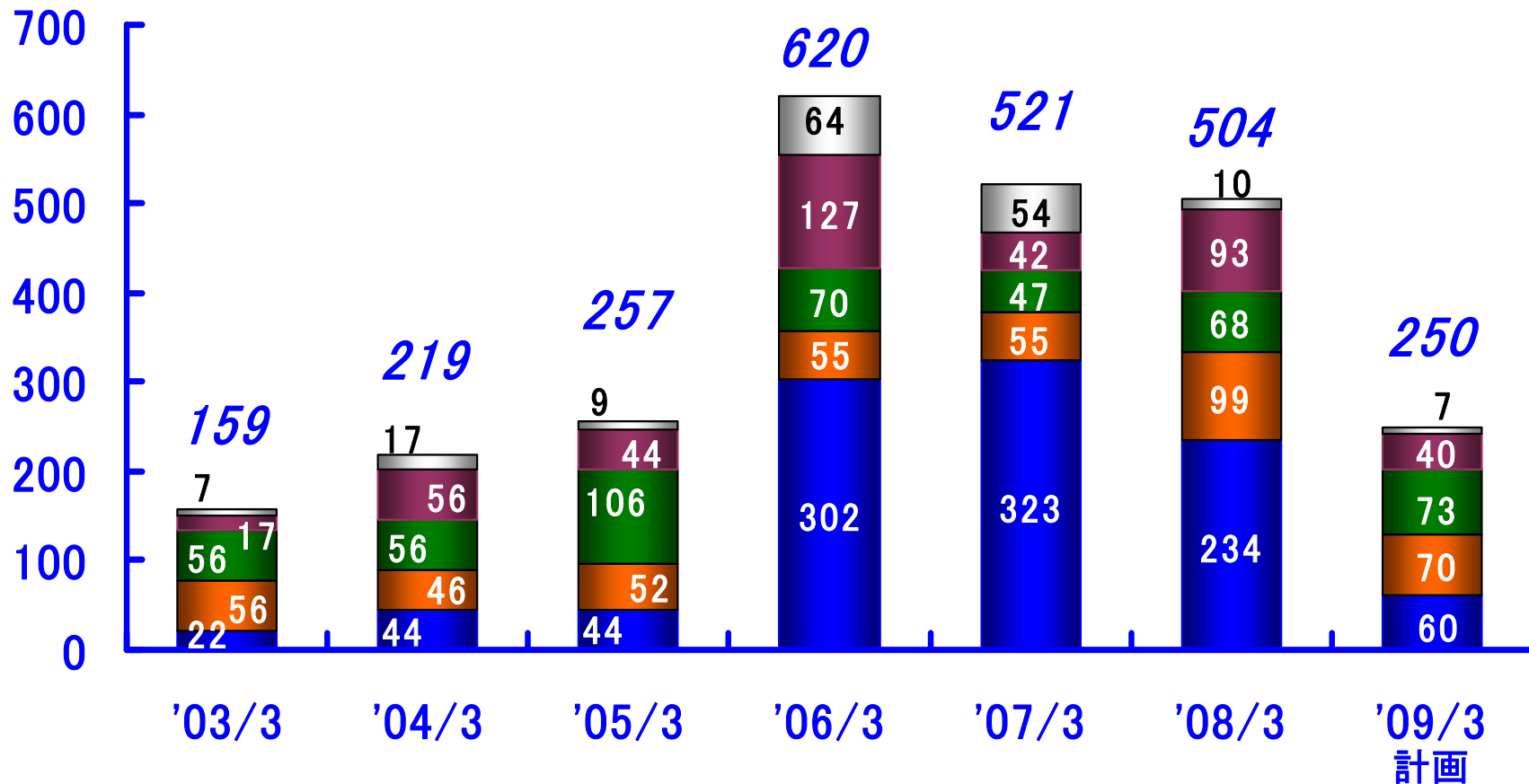


# 設備投資額推移

過去3年間の設備投資は、

大竹でのFT、TAC、海外インフレータなど約1650億円

単位：億円



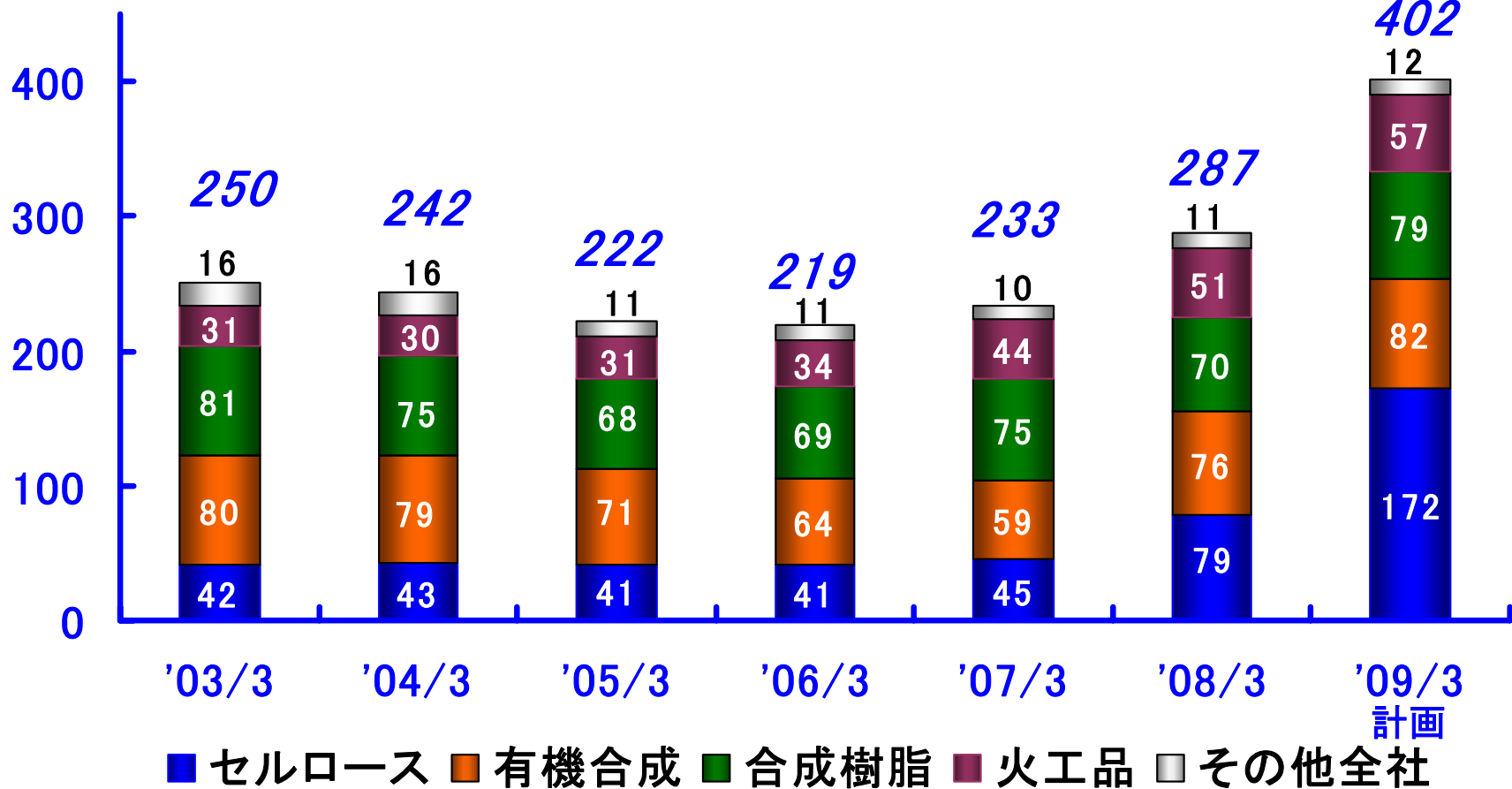
■ セルロース ■ 有機合成 ■ 合成樹脂 ■ 火工品 ■ その他全社

# 主な設備投資(持分法会社分含む)

- セルロース事業
  - 液晶表示用フィルム向け酢酸セルロース設備(大竹工場 2008/5竣工)
  - たばこフィルター用アセテート・トウ事業の移転増強(大竹工場 2007/10稼動)
  - 中国たばこフィルター向け酢酸セルロース設備(寧波大安化学2007/10稼動)
- 有機合成事業
  - 中国無水酢酸設備(寧波大安化学2007/10稼動)
  - バイオエタノール活用のエチルアミン設備(大竹工場2007/12稼動)
  - バイオエタノール活用の酢酸エチル設備(大竹工場2009年春稼動予定)
- 火工品事業
  - インフレータ設備増強(国内および海外拠点)

# 減価償却費推移

単位: 億円

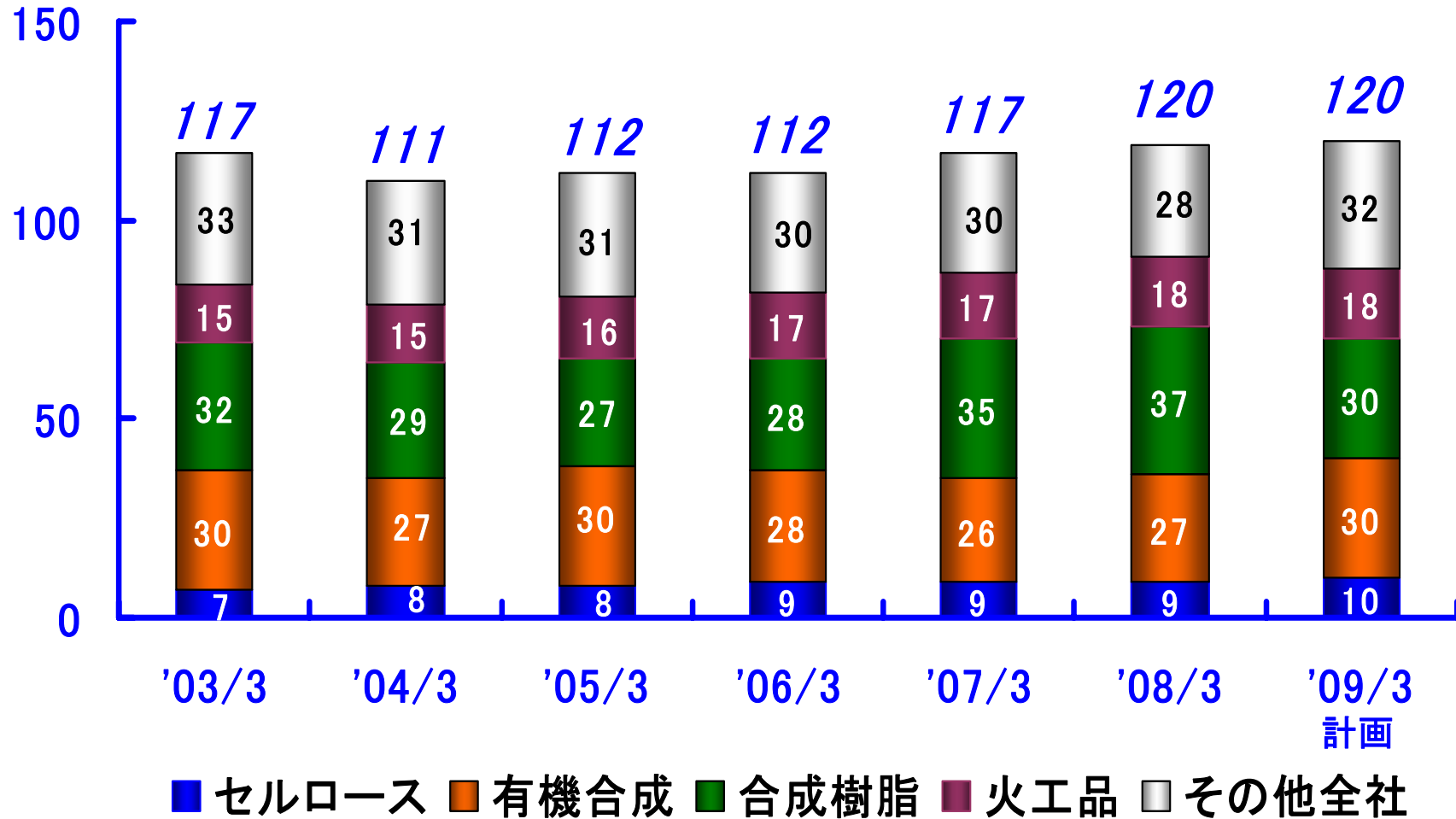


2009年3月期 減価償却費(予想) : 402億円

セルロース 172、有機合成 82、合成樹脂 79、火工品 57、その他全社 12

# 研究開発費推移

単位:億円

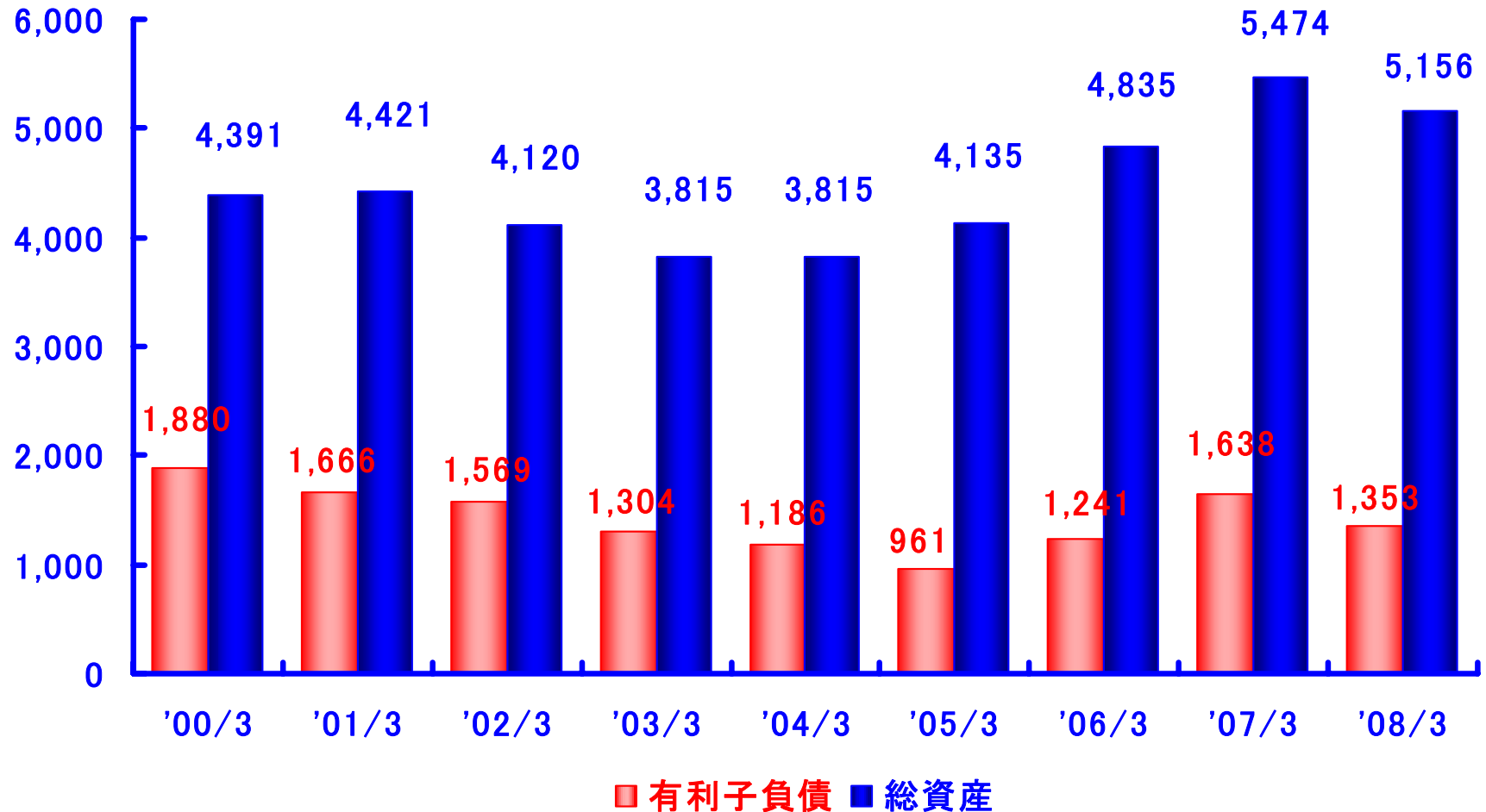


# 連結貸借対照表

	2007年3月末	2008年3月末	増減	備 考
流動資産	2,067	2,078	+12	
現金及び預金	134	208	+74	
受取手形及び売掛金	984	905	△79	運転資金圧縮努力、ダイプラグループの連結除外
棚卸資産	756	733	△23	ダイセル圧縮、ダイプラ除外、ポリプラ・海外MSDの増加
その他	192	232	+40	
固定資産	3,408	3,078	△330	
有形固定資産	2,255	2,229	△26	取得固定資産は、大竹工場の投資、MSD海外、ポリプラ
無形固定資産	71	54	△17	
投資その他資産	1,082	795	△286	投資有価証券は、株価下落による期末評価
資産合計	5,474	5,156	△318	
負債	3,050	2,765	△286	
有利子負債	1,638	1,353	△285	有利子負債比率 26.24%(有利子負債はピークを過ぎ減少)
その他	1,412	1,412	△0	
純資産	2,424	2,391	△33	
負債純資産 合計	5,474	5,156	△318	

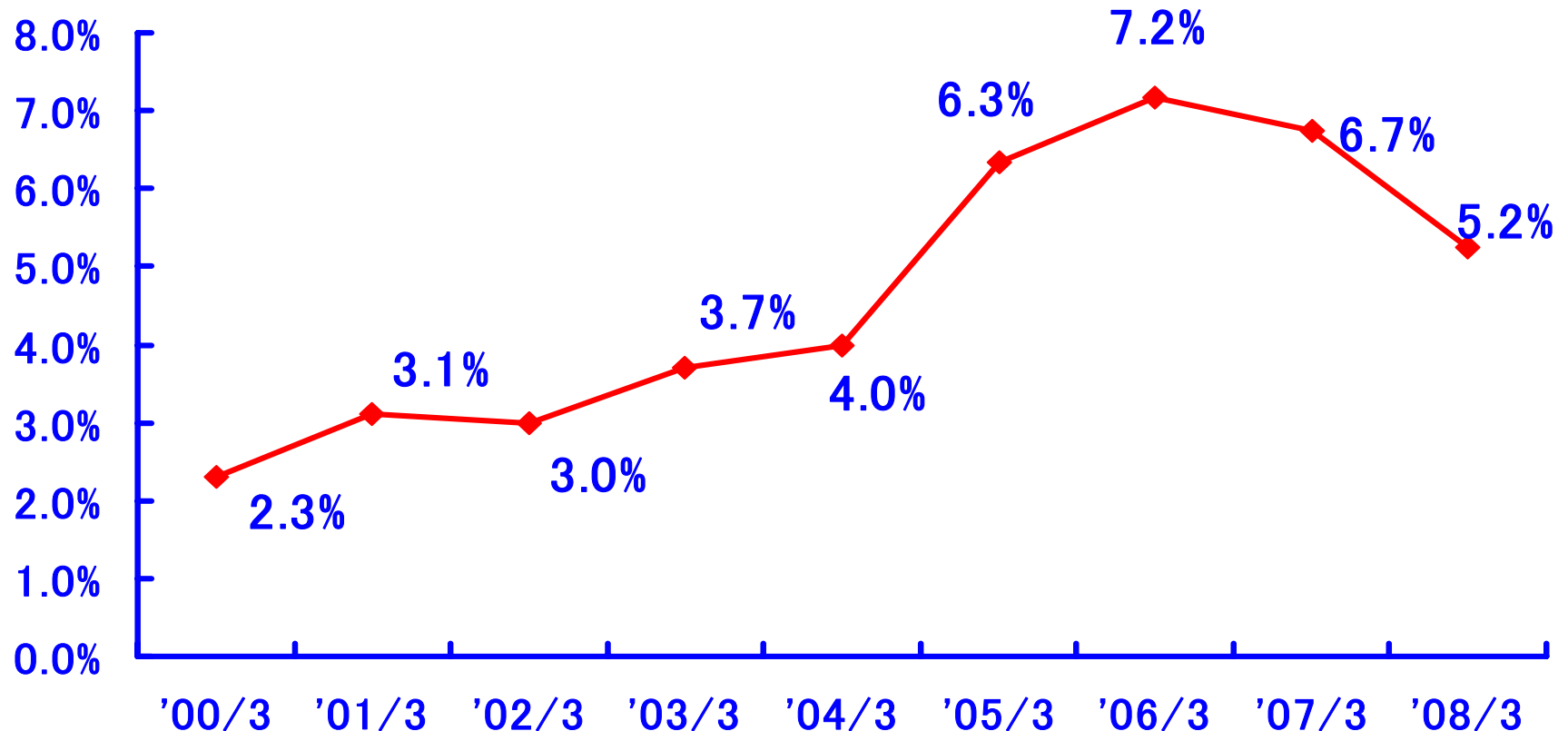
# 総資産・有利子負債推移

単位：億円



# ROA(総資産経常利益率)推移

中期目標:2009年度に9%を超える





# (参考) 2009年3月期業績予想(対前年)

(単位:億円)

	2008/3				2009/3				年間増減
	1Q実績	上期実績	下期実績	合計	1Q予想	上期予想	下期予想	合計	
売上高	977	2,015	2,155	4,170	1,010	2,100	2,280	4,380	+ 210
セルロース	176	348	376	725	170	384	477	861	+ 136
有機合成	229	481	532	1,012	268	536	562	1,098	+ 86
合成樹脂	414	853	860	1,713	395	799	823	1,622	△ 91
火工品	143	300	354	654	162	346	379	725	+ 71
その他	14	33	33	66	15	35	39	74	+ 8
営業利益	73	161	161	322	75	165	180	345	+ 23
セルロース	27	48	34	83	24	43	42	85	+ 2
有機合成	21	49	68	117	33	62	58	120	+ 3
合成樹脂	33	75	68	143	22	62	73	135	△ 8
火工品	12	25	32	56	16	37	46	83	+ 27
その他	0	3	3	6	1	3	6	9	+ 3
全社	△ 19	△ 39	△ 44	△ 83	△ 21	△ 42	△ 45	△ 87	△ 4
経常利益	76	148	130	279	72	155	170	325	+ 46
当期純利益	38	69	68	137	40	80	85	165	+ 28

(為替の実績及び想定) (120円) (120円) (114円) (117円) (100円) (100円) (100円) (100円)

# 予測に関する注意事項

- ★本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ★ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はダイセル化学工業(株)に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。